



<https://www.jaaso.or.jp/>

JAあそだより

令和6年10月



「親子で稲刈り」参加者の皆さん

■今号16ページ 主な内容

- 令和6年産阿蘇コシヒカリ初検査・安全祈願祭・出発式
- 建設進む「大型自動ラック式農業倉庫」・TAC活動報告
- 女性部全体研修会・青壮年部大会開催
- 生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの動き
- 親子で稲刈り・地元中学生農業体験・「野菜の日」特売会
- 「イラスト違い」正解者に抽選でプレゼント！etc.

今号も話題と情報を満載!!

JA阿蘇のホームページに
アクセスできます!



2024
秋

VOL. 137



● 阿蘇農業協同組合

本所 〒869-2612 熊本県阿蘇市一の宮町宮地387-5
TEL 0967-22-6111 / FAX 0967-23-1088

令和6年産「阿蘇コシヒカリ」全量が1等米

阿蘇コシヒカリ「初検査」出発式
概算金2万2020円は過去20年で最高額

J A阿蘇は9月10日、阿蘇市で「令和6年産米初検査」及び「阿蘇コシヒカリ出発式」を行いました。

全国的なコメ不足や資材高騰を受け、農家に支払う1俵当たりの1等米の概算金を2万2020円とし、過去20年で最高金額となりました。

中部営農センターで行われた初検査では、持ち込まれた約15tの阿蘇コシヒカリ（特別栽培米）から、サンプルを抜き取って検査。新米の形や色ツヤ、水分量や粒の張り具合を検査した結果、全量が1等米となり令和6年産米は順調なスタートを切りました。



写真上から＝阿蘇コシヒカリ出発式
テープカット／原山組合長挨拶の様子
／新米を載せたトラック

写真右＝袋詰めされた阿蘇コシヒカリ
／初検査の様子



原山寅雄組合長は式辞で「稲作の生産コストが高騰し厳しい状況が続いていたこともあり、組合員のため強い気持ちで概算金を設定した」と意気込みを語り、J A阿蘇稲作部会の立石翼部会長は「丹精込めて作った阿蘇のコシヒカリを1粒1粒味を感じながら、多くの消費者に味わってもらいたい」と初出荷の喜びを述べました。今季も品質・出荷量ともに例年通り良く、出荷目標は9660tが見込まれています。

初検査後に行われた出発式では、関係者によるテープカットや高森高校の学生寮「たかもり時空和べーす」への新米贈呈式が行われ、新米を載せたトラックを見送り、初出荷を祝いました。式典後、新米で作られたおにぎりが出席者に振る舞われました。





「原山組合長自ら稲刈り」 稲刈りの受託作業を試験的に行う



J A阿蘇は9月9日、初めて稲刈りの受託作業を試験的に行いました。

現在、農業者の高齢化や担い手不足、肥料や資材、機械の高騰などの影響で離農や委託が増加。稲作の受託者にも限界がきており「田植えが出来ない」「育った米を刈れない」現状にあります。

こうした組合員からの「JAでの稲刈りをお願いしたい」という要望に応えようと、原山寅雄組合長が自らコンバインを操作し稲刈りを行いました。

原山組合長は「組合員の生産コストは上がり、厳しい状況になっている。少しでも組合員の負担に伝えていきたい」と語り、今後、田植えから稲刈りまでの作業を行う体制を確立していく予定です。

(写真＝稲刈り体験を行う原山組合長と田嶋常務)

10月末の完成予定「大型自動ラック式農業倉庫」

J A阿蘇では、阿蘇市で「大型自動ラック式農業倉庫」の建設が進んでいます。

新農業倉庫の建設は、農業倉庫への保管料や運賃の削減、既存倉庫の集約、フレコン集荷による労働力の低減へ繋げることを目的としています。

建設中の農業倉庫は総工費20億円で敷地面積8616㎡、建築面積・延床面積ともに5121㎡の鉄骨造平屋建てで、内部には約4900t、米俵およそ8万俵分の米が保管でき、温度と湿度の管理をコンピューターで行います。

自動ラック式により、従来の保管方法「先入れ後出し」に縛られず、どこからでも取り出せ、品種ごとの保管と幅広い運用が可能となっています。

建設工事を行っている㈱サンコービルドは熱中症対策として、かき氷機や塩分補給品を作業事務所に置き、猛暑の中で作業を行う作業員を支えるための万全な態勢を整えています。原山寅雄組合長は「猛暑の中、作業する作業員に感謝申し上げます。安全を第一に作業を行ってもらいたい」と述べています。

農業倉庫の完成は今年10月末を予定しています。



建設中の大型自動ラック式農業倉庫

J A阿蘇第1四半期TAC活動報告会を開催



J A阿蘇は8月7日、J A阿蘇第1四半期TAC活動報告会を開催しました。当日はJ A阿蘇常勤役員その他、各部室長や連合会関係者ら30名が集まり、日々の訪問活動の実績をTAC（地域農業の担い手）に出向くJA担当者より報告しました。

報告内容は、訪問活動を行った際の組合員や生産者からのJAに対する意見・要望の他に、他部門との同行訪問による実績やスマート農業を活用した試験圃場の途中経過など、多岐にわたって報告されました。この報告会は年に4回行われ、営農・購買・金融・共済とJA内部の共通の課題解決に向けた重要な会となっています。原山組合長は「他部門との連携が目に見えないところで良い意味で影響してきている。今後も職員をリードしていきたいようなTAC活動を行ってほしい」と励ましました。

※TAC＝Team for Agricultural Coordination / 写真＝水田用自動給水機の試験圃場での設置説明の様子（左からTAC市原職員・久石ファーム藤原代表・メーカー職員）



心臓マッサージやAED操作など体験 JA阿蘇女性部全体研修会



J A阿蘇女性部は7月18日、女性部全体研修会を開催しました。研修会には女性部員やJ A関係者ら50名が参加しました。

研修会には、阿蘇広域行政事務組合消防本部より講師を招き、救急・防災講習として消防署職員から救急時の適正な対応や傷病者の搬送方法などの説明を受けました。

その後、実際に数人のグループに分かれ、練習用教材を用いて心臓マッサージの方法やAEDの操作方法など一連の手順を学びました。

救急時の対応を体験した女性部員は「もしもの時に落ち着いて適正な対応をすることが重要であると改めて感じた」と感想を語っていました。

講習後はJ A熊本中央会の麻生

もしもの時、落ち着いて
適正な対応できますか!?



写真Ⅱ緊急時の対応について一連の手順を学ぶ参加者の皆さん

せい子さんによる、家の光記事を日常で活用する方法やAコープマーク品についての講演も行われました。

第49回JA阿蘇青壮年部大会 盟友の主張発表最優秀賞 長野泰蔵さん(長陽支部) 組織活動実績発表最優秀賞 西原支部

第49回J A阿蘇青壮年部大会



J A阿蘇青壮年部は8月1日、第49回青壮年部大会を開催しました。

大会には青壮年部盟友や関係者ら50名が参加し、盟友の主張発表や組織活動実績発表を行いました。

開会にあたり北野暁之青壮年部長が「青壮年部組織としての意義や在り方、今後の農業情勢に対して何が出来るのか模索し、盟友間の結束力を高め営農に励んでほしい」と、力強く挨拶しました。

発表では、新規就農に伴うJ Aや地域盟友との繋がり、地域住民や行政と連携した食育活動などが発表されました。

審査の結果、盟友の主張発表最優秀賞に長陽支部の長野泰蔵さん。組織活動実績発表最優秀賞に西原支部

が輝きました。

長野泰蔵さんと西原支部は、10月22日に開催されるJ A熊本県青壮年部大会に阿蘇代表として出場します。

写真Ⅲ盟友の主張最優秀賞受賞の長野さん(右)、組織活動で最優秀賞に輝いた西原支部の丹生さん(左)



7月下旬 JA阿蘇女性部「一斉クリーン作戦！」

阿蘇町・小国郷・南阿蘇・高森・西原・蘇陽の6地区の女性部員らがゴミを回収

JA阿蘇女性部は7月下旬、JA阿蘇管内で「一斉クリーン作戦」を実施しました。

阿蘇郡市の阿蘇町・小国郷・南阿蘇・高森・西原・蘇陽の6地区の女性部員らが街に落ちているゴミを回収し、街ごとキレイにしようとした企画です。参加者は約100人に上り、親子で参加した方もいました。

道端には紙片のような小さいものから大きなゴミまであ

り、回収したゴミは可燃・不燃・ペットボトル・缶などの資源ゴミに分別しました。回収したゴミは約80袋と予想よりも多い結果となりました。女性部統括の堀川美紀さんは「心と地域が少しでも明るくなればと考え、阿蘇郡市全体でクリーン作戦に取り組みました。女性組織が地域の方と共に活動できた事に意義があり、地域貢献できて良かった」と笑顔で話していました。

阿蘇町支部の皆さん(7月13日)



小国郷支部の皆さん(7月20日)



西原支部の皆さん(7月13日)



高森支部の皆さん(7月14日)



南阿蘇支部の皆さん(7月6日)



蘇陽支部の皆さん(7月28日)



生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの動き①

夏秋キュウリ出荷最盛期
販売金額4600万円を計画
|| JA阿蘇中部キュウリ部会 ||



JA阿蘇中部キュウリ部会は、令和6年産夏秋キュウリの出荷最盛期（7月下旬取材時）を迎えました。

作付総面積は1.3haで生産者は8人。7月中旬から熊本県内や福岡・鹿児島へと九州管内を中心に出荷が本格的に始まっています。

JA阿蘇の中部野菜センターには、生産各農家から多い時には約100ケース（1ケース15kg）が持ち込まれており、センターのスタッフは選果選別作業に追われています。

品種は節成性が高く、分枝性も良い「二ーナ乙」や「スック」を主としています。

定植後の活着もスムーズで順調な生育となっており、梅雨明け後の萎れや芯焼けが散見されましたが、現在は病害虫も少なく順調な出荷が続

いています。中部キュウリ部会では販売数165t、販売金額4600万円を計画しています。

担当指導員の江藤秀晃職員は「農家所得増に向け、収量・品質向上に現地検討会・巡回を通して取り組み、同時に阿蘇の農産物がさらに消費者に選ばれるよう販売にも繋げたい」と抱負を話していました。（写真右 || キュウリの出荷作業が行われている中部野菜センター / 撮影7月29日）

夏秋トマトも出荷最盛期迎える
販売金額18億円を計画
|| JA阿蘇中部トマト部会 ||

JA阿蘇中部トマト部会は、令和6年産夏秋トマトの出荷が最盛期（7月下旬取材時）を迎えています。作付総面積は約41haで生産者は148人。

7月上旬から九州管内や関東・関西方面へと出荷が本格的に始まっています。品種は高温下での着果性が優れ、

肉質が良くコクのある「りんか40



9」を出荷しています。

中部野菜センターには各生産農家から多い時には約5800ケース（1ケース15kg）が持ち込まれ、選果選別作業に追われています。同部会では販売数量4800t、販売金額18億円を計画しています。

去年に比べ梅雨期による日照不足や長雨の影響で、樹勢の低下、灰色かび病の発生が一部見られましたが3〜4段収穫期頃には着果・玉肥大も良好で、7月上旬〜中旬にかけて増量となりました。

その他にも梅雨期の影響で7〜8段花に落花が見られる圃場もありましたが、それ以上の段については着果が良好で本年は樹勢も安定していることで、順調な生育となっています。

近年、中部トマト部会の栽培エリアは新規就農者や後継者の増加傾向にあり、産地として注目され市場からも好評を得ています。今後さらに生産農家や行政・JAが連携し、収量・所得の増加を目指し取り組み計画です。

担当指導員の田部滉大職員は「今後も安定出荷に向けて積極的に現地指導に注力していく」と力強く語っていました。出荷は11月まで続きます。（写真上 || トマト出荷作業が行われている中部野菜センター / 撮影7月29日）

夏秋ミニトマト出荷最盛期
販売金額1億1600万円を計画
|| JA阿蘇中部ミニトマト部会 ||



JA阿蘇中部ミニトマト部会では、令和6年産夏秋ミニトマトの出荷が最盛期（7月下旬取材時）を迎えています。作付総面積は約3haで、生産者は22人。7月中旬から九州管内を中心に出荷が本格的に始まっています。

品種は高糖度で肉質が良く、食味極良な「キャロルスター」や「みわた」を主とし出荷しています。同部会では販売数量174t、販売金額1億1600万円を計画しています。定植後から低温の日が続く収穫時期が1週間程遅れましたが品質・食味共

生産各部会の生育・出荷・査定会・総会などの動き②



いちご部会総会で総販売金額等功労者表彰の様子

JA阿蘇いちご部会総会で
総販売金額等の功績を称え表彰

※前ページより続く

に良好です。また、一部梅雨期の日照不足による萎れ、樹勢の低下が見られましたが、その後樹勢も回復し大きな病害虫の発生は見られていません。今年は病害の発生も遅く、後半も現在の樹勢良好により安定した生育・出荷となる見込みです。

JA阿蘇の中部野菜センターには、各生産農家から多い時には約220

ケース（1ケース15kg）が持ち込まれており、作業スタッフは選果選別作業に追われています。

販売担当の石部拓郎職員は「食味・品質共に良好だ。有利販売に繋がるように今後とも引き続き努めたい」と話していました。（前ページの写真1ミニトマトの出荷作業が行われている中部野菜センター／撮影7月29日）

8月5日、令和5年度JA阿蘇いちご部会の総会にあたり、一の宮中央支所で表彰が行われました。JA表彰の部では、総販売金額の功績を称え3人の生産者へ表彰状の授与と賛辞が贈られました。

部会表彰の部では、単位面積当たり販売金額の功績を称え12人の生産者へ表彰状の授与と賛辞が贈られました。同部会のイチゴ生産は、生産力・販売力強化に重点的に取り組み年々実績を伸ばしてきました。

今後とも所得アップを目指しJA・生産者が一丸となり、より一層連携した取り組みを続けていく方針です。表彰者は以下のとおり。（敬称略）

『JA表彰の部』

▽総販売金額 〓 大津裕樹・佐藤哲治・園田賢臣

『部会表彰の部』

▽単位面積当たり金額 〓 嶋野妙子・

2024年産イチゴ定植
9月1日より県内最速でスタート

JA阿蘇管内では2024年産イチゴの定植が、9月1日より県内最速でスタートを切り、最盛期を迎えています。

当日定植を行ったJA阿蘇いちご部会員の佐藤哲治さんは、恋みのりを高設栽培（124・2a）で経営。雇用している外国人技能実習生が迅速丁寧な作業で定植作業を行っている。

園田賢臣・西田満士・大津裕樹
田中敏夫・佐藤哲治・山辺達也
岩下岩雄・志賀謙三・甲斐安敬
小野龍臣・坂梨隆一

ました。

佐藤さんは「台風による大きな影響もなく、例年通りの定植時期を迎えられた。今後とも管理を徹底して高品質なイチゴを消費者に届けたい」と抱負を述べていました。

本年度の出荷計画は部会員37戸で作付面積1148a、出荷量230万パック、金額8億円を掲げています。

江藤秀晃指導員は「高温の影響で花芽の遅れや病害虫が心配されたが、対策を図ったことにより例年通りの計画で定植ができた。今後は年内収量確保を目指し徹底した指導をしていく」と意気込みを語っていました。

出荷開始は10月下旬頃を予定しており、主に関東・関西地方の市場への出荷を重点に計画しています。（写真上1定植をする特定技能実習生／撮影9月2日）

お詫び

あそだより136号7ページに掲載した「南部トマト部会出荷査定会」記事文面で部会長名に誤りがありました。

（誤）伊藤 芳隆様

（正）伊藤 隆幸様

謹んでお詫びを申し上げます。

「親子で稲刈り体験」イベント開催！ 稲刈り後、あか牛バーベキューや女性部特製カレーで楽しいランチタイム

JA阿蘇は9月7日、食農教育の一環として「親子で稲刈り体験」イベントを開催しました。

イベントにはJA阿蘇管内の小学生親子や関係者ら約50名が参加しました。稲刈り鎌の使い方を教わった参加者は、1株1株丁寧に刈り取り、親子で協力しながら刈り取るほほえましい風景も見られました。

参加したある小学生は「昔の人は機械を使わずに刈っていたから、すごいと思う。お米を作ってくれて、ありがとう」と感謝の気持ちを話していました。

近年の資材高騰や担い手不足を受け、営農部の園田真治職員は「当たり前にご飯が食べられる有り難さや、そのお米を作る生産者の苦労などを体感してもらうことは大変有意義なことだと思う。これからも毎年開催していきたい」と抱負を語っていました。

稲刈り後は阿蘇あか牛のバーベキューのほか、JA阿蘇女性部特製のカレーライスで楽しいランチタイムとなりました。また、家の光「ちゃぐりん」を活用した食農教育クイズ大会も開かれ、大いに盛り上がりました。



刈り取った稲は束ねて
ちゃんと運びます。
「稲刈り体験、
初めてにしては
とっても上手だよ♡」



稲刈り体験後のランチは、あか牛の
バーベキューと特製カレーライス！
参加者全員大満足！





8月31日の『野菜の日』びぶれす広場で 阿蘇の夏秋野菜をPR!



J A阿蘇は8月31日の『野菜の日』に、熊本市中央区の「びぶれす広場」で開かれた特売会に出店しました。この特売会は、毎年『野菜の日』に合わせて行われている恒例のイベントで、熊本県産の夏秋野菜のPRと販売促進を目的として開催されています。

当日、会場には熊本県産の夏秋野菜約10品目が並び、多くの人が訪れ賑わいました。

J A阿蘇は、小国郷地区の特産生しいたけや高森地区特産のひごむらさきなどを、小売価格の半値に近い価格で販売しました。野菜価格が高騰している中、消費者にとって嬉しいイベントとなりました。

担当の河津勝職員は「J A阿蘇管内で生産されている夏秋野菜のPRができた。今後も阿蘇の誇る特産物のおいしさと情報を発信していきたい」と話していました。

一の宮中学生が農業体験学習 農業へ理解を深め社会生活のマナーなど学ぶ

J A阿蘇は9月3・4日、阿蘇市立一の宮中学校1年生15名を受け入れ農業体験学習を行いました。

この体験学習は、総合的な学習の一環として農業への理解を深めること、社会生活における礼儀やマナーを学ぶことを目的に実施されました。

作業内容の説明を受けた後、生徒たちは2班に分かれ、J A阿蘇一の宮町のライスセンターと選果場でJ A職員の手を借りながら、米の袋詰めやアスパラガスの梱包作業を体験しました。

生徒たちは「米の袋を結ぶのが難しかった」と



か「アスパラガスが折れないように丁寧に作業をした」などと感想を述べていました。

生徒たちは米の袋詰めや アスパラガス梱包作業を体験



日頃の業務の腕前を披露 J A阿蘇ロールプレイング大会 最優秀賞に松尾彩職員（一の宮中央支所）



最優秀賞に選ばれた松尾彩職員

J A阿蘇は7月27日、「J Aバンク熊本ロールプレイング大会」阿蘇地区予選会を一の宮中央支所で開きました。

この大会は毎年行われており、お客様に選ばれ信頼される地域ナンバーワンの窓口を目指し、所要時間内に与えられた課題の中で工夫を凝らした競技を行います。

審査には古澤博保常務らがあたり、約50名の関係職員が参加しました。

競技の結果、最優秀賞に一の宮中央支所の松尾彩職員、優秀賞には阿蘇南中央支所の後藤大職員が選ばれました。

最優秀賞を受賞した松尾彩職員は「日頃の業務が活かされて受賞することが出来たと思う。県大会でも平常心で頑張りたい」と抱負を述べました。

松尾職員は令和7年1月18日開催の県大会に出場します。

ジューシー陳列コンテスト

最優秀賞Ⅱ「グリーン一の宮」
優秀賞Ⅱ「小国郷購買店舗」



最優秀賞のグリーン一の宮スタッフの皆さんとディスプレイ(写真左上)／小国郷購買店舗のディスプレイ(左下)



令和6年度ジューシー陳列コンテストで「グリーン一の宮」が最優秀賞に、「小国郷購買店舗」が優秀賞に輝きました。同コンテストは6月1日から30日までの1か月間実施され、ジューシーの売上拡大と陳列方法、モチベーションの向上を目的として行われました。

資材店舗ディスプレイコンテスト 優秀賞＝「小国郷購買店舗」 特別賞＝「グリーンなんごう」



優秀賞の「小国郷購買店舗」スタッフの皆さん(写真右上)とディスプレイ(写真右下)／特別賞の「グリーンなんごう」スタッフの皆さん(写真中)とディスプレイ(写真左下)

第15回JA資材店舗ディスプレイコンテスト熊本県大会で「小国郷購買店舗」が優秀賞、「グリーンなんごう」が特別賞を受賞しました。同大会はJAならではの店づくりによる来店者の満足度向上、ホームセンターや小売店に先んじた早期陳列の再徹底、JAオリジナル商品の陳列強化による競合店との差別化を図ることなど、資材店舗の活性化や売れる店づくり強化を目的に行われました。各JA店舗が趣向を凝らした展示を行う中、受賞の2店舗はオリジナリティとセンスが光る展示で、顧客への情報発信・商品アピール・興味を引

最優秀賞に輝いたグリーン一の宮の井手課長は「多くのお客様にジューシーをアピールすることができ、愛飲運動にも繋がった。今後さらに商品のディスプレイに工夫を凝らしていきたい」と受賞の喜びを語っていました。

くディスプレイが評価され、今回の受賞となりました。

小国郷購買店舗の梅木課長は「分かりやすさを重視した配置で、ひと目で商品が分かるように工夫した。これからも来店しやすい店舗を目指しスタッフ全員で盛り上げていきたい」と抱負を話していました。小国郷購買店舗はジューシー陳列コンテストでも優秀賞を受賞しており、今季「二冠」となりました。



JA阿蘇 イラスト違い探し「親子で稲刈り」

左右2つのイラストには、違っているところが5か所あります。

探してみてください! (出題:イラストレーター みやた みゆき)



イラスト違い探し「親子で稲刈り」応募方法

上のイラスト5か所の違いを、官製ハガキに書いて応募してください。正解者の中から抽選で4名様に「阿蘇コシヒカリ5kg」(写真)をプレゼントします。

応募締め切りは令和6年11月15日(当日消印有効)です。

当選者は次号のJAあそだよりで発表します。



前号「花火大会」答えとプレゼント当選者4名様



= 答え =

- ①屋台の「やきそば」文字
- ②奥の真ん中の木
- ③お父さんの口
- ④お母さんのイヤリング
- ⑤男の子の浴衣の柄



- 村上 さくら 様 (南阿蘇村)
- 西村 奈央 様 (一の宮町)
- 後藤 ちず 様 (高森町)
- 荒尾 美香 様 (小国町)

ハガキ (表)

869-2612

阿蘇市一の宮町官地387-5
JA阿蘇 総務部
「JAあそだより」係

ハガキ (裏)

●イラスト違いの答え

- ①
- ②
- ③
- ④
- ⑤

●郵便番号

●住所(番地までご記入ください)

●電話

●氏名

●年齢

●ご意見・ご要望
(内容によっては誌面で取り上げさせていただきます)

●その他



「自転車事故のない社会へ！」
阿蘇中央高校で交通安全教室
JA共済・熊本県警察本部が主催



スタントマンによる自転車事故の実演を見る高校生

8月26日、熊本県立阿蘇中央高校でJA共済と熊本県警察本部主催の「自転車交通安全教室」が開かれました。この交通安全教室には高校生約200名とJA阿蘇役職員ら約10名が参加し、スタントマンチームによる実演を見学しました。同教室は、自転車の利用が多い中学生や高校生を対象に開かれており、実演で実際に事故の衝撃や恐怖を知ってもらい、正しい交通ルールを守ることの大切さを認識してもらうことを目的にしています。

スタントマンが自転車の右側走行やスマートフォンを使用しながら「ながら運転」、ヘッドフォンで音楽を聴きながらの走行などで起こる重大な事故を解説し、実演で再現しました。

生徒たちからは「交通ルールや自転車の正しい乗り方を再確認した。安全運転を心がける」と言った感想が多く聞かれました。

「よろしくお願
いいたします」

令和6年度新入組職員紹介



おおた
太田
かなた
奏多

出身地／阿蘇市

趣味／読書・音楽鑑賞

抱負／生まれ育った阿蘇に仕事を通じて恩返しができるように、一生懸命頑張ります。少しずつでも農業について学んでいき、成長していきたいです。



かわはら
川原
みつぎ
美月

出身地／大分県日田市

趣味／旅行・動画観賞

抱負／JA阿蘇に入組して日が浅いですが、周りを見て行動し、自分の出来ることを精一杯頑張ります。何事にも積極的に取り組みたいです。



さとう
佐藤
みる
稔

出身地／南小国町

趣味／映画観賞・ランニング

抱負／少しでも早く業務内容を覚え、JA阿蘇・組合員さんの力になれるように心機一転頑張ります。

一の宮給油所をご利用頂きました、お客様へ

長年ご利用頂きました、一の宮給油所ですが、施設の老朽化に伴い令和6年9月末日を持ちまして閉店の運びとなりました。ご利用頂きました、皆様へ厚く御礼申し上げます。

一の宮給油所は閉店となりますが、ご利用頂いておりました、これまでの業務は以下の施設にて、引き続きご利用いただけます。ご不便をお掛けする面も御座いますが、変わらぬご愛顧を賜ります様、お願い致します。



灯油や軽油、配達のご依頼は、

阿蘇町給油所 TEL 0967-32-5539

やまなみ給油所 TEL 0967-24-2472

(配達については、午前中のご依頼はお昼から、午後のご依頼は翌営業日となります。)



タイヤ交換や履き替え、愛車整備のご依頼は、

オートサービスセンターTEL:0967-32-2816



令和6年9月1日

組合員・利用者 各位

阿蘇農業協同組合

JAバンク基本方針の変更について

拝啓 時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

当組合業務につきましては日頃から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、2024年6月21日に執り行われました農林中央金庫 通常総代会において、標記の通りJAバンク基本方針が変更となりましたのでご連絡いたします。

なお、例年JAバンク基本方針の変更を行う際にはJA通常総代会に報告させていただいているところですが、同方針を決議する農林中央金庫の総代会開催日程が、2024年6月21日であり、時間の都合上、同月26日に開催された当JA総(代)会の資料への掲載ができなかったため本誌に掲載させていただくものです。

皆様におかれましては、ご確認いただきますようお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 今般変更された規程
JAバンク基本方針

2. 変更内容

- ・ JAバンク基本方針に全共連との連携について明記
- ・ JAへの指導にかかる指定基準の一部内容変更

※ホームページ参照 <https://www.jabank.org/about/housin/>

3. 本件変更にかかる今後の対応について

JAバンク基本方針については定款第40条第2号の定めにより、信用事業再編強化法第4条の規定に基づき農林中央金庫が定めることとされており、JA総代会では変更の都度、報告させていただいております。

つきましては次年度の通常総(代)会において、本変更については改めて報告させていただく予定としております。

以上

<お問い合わせ先>

阿蘇農業協同組合 金融部

担当：佐藤、阿部 TEL：0967-22-6128

理事会・監事会報告

■令和6年度第7回理事会

日時 令和6年9月2日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

7月末実績について

- 1) 貸出金について(案)
- 2) リスク評価書及びリスク総括表の定例改正について(案)

報告事項

- 1) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング」報告について
- 2) 県域ローンセンター媒介業務実績について(四半期報告)
- 3) 令和6年度 米麦等棚卸監査報告書について
- 4) JA-SS QR決済について
- 5) 第60回 農機自動車大展示会実績について
- 6) 令和6年度上期決算における休業について(金融・購買・営農)
- 7) 自主検査結果報告について(令和6年6月)

4. 閉会

■令和6年度第8回理事会

日時 令和6年9月27日午後1時30分

場所 一の宮中央支所会議室

1. 開会
2. 組合長挨拶
3. 協議事項

8月末実績について

- 1) 貸出金について(案)
- 2) 個人情報保護法関連規程の改訂について(案)
- 3) 農産物検査規定変更について(案)
- 4) 就業規則等の一部変更について(案)

報告事項

- 1) 2024年度JA阿蘇総合展示会実施要領について
- 2) 自主検査結果報告について(令和6年7月)
- 3) 令和6年産米概算金について
- 4) 令和6年産米集荷実績について

4. 閉会

■令和6年度第5回監事会

日時 令和6年8月20日午後1時30分

場所 本所2階第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和5年度決算監事監査回答書について
- 2) 令和6年度米麦等棚卸監査報告書(案)について
- 3) 令和6年度上期決算棚卸監査要領(案)について
- 4) 令和6年度上期決算監事監査日程(案)について
- 5) JAバンク基本方針に基づく「体制整備モニタリング報告」について

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② 令和6年度 監事研修会(Web)開催について
- ③ 行事予定について

4. 閉会

■令和6年度第6回監事会

日時 令和6年9月27日午後1時30分

場所 本所 2階 第一会議室

1. 開会
2. 挨拶
3. 議題

- 1) 令和6年度上期決算棚卸監事監査実施手続きについて

報告事項

- ① 常勤監事業務報告及び会議等報告について
- ② JA常勤監事研修会報告について
- ③ 第24期監査法人「監査計画概要説明書」について
- ④ 常例検査主要指摘相当事項について
- ⑤ 行事予定について

4. 閉会



●●● JA阿蘇職員異動のお知らせ ●●●

	氏名	新辞令	旧辞令
令和6年8月1日	今村 昭洋	阿蘇南中央支所金融課長代理	蘇陽支所長代理兼経済統括課長

●●● JA阿蘇新入組職員内示 ●●●

	氏名	新部署	新役職名
令和6年10月1日	佐藤 稔	購買部	購買部付経済連阿蘇中部物流センター出向
〃	川原 美月	小国郷営農センター	営農部小国郷営農センター直販事業課事業係(庶務)
〃	太田 奏多	一の宮中央支所	一の宮中央支所金融課金融係

JA阿蘇は各地区の身近な「支所担当者」が 皆さまの暮らしを誠心誠意サポートいたします!!



JA共済くまもとマスコット 仁くん

入院・手術や災害による建物の罹災、
自動車事故等のもしものときも、速やかに対応、
お客さまの不安を払拭し、お支払いまで誠心誠意努めます。
お車に関しては、JA共済指定工場と連携し、
皆さまのカーライフをサポートします。



JA共済くまもとマスコット 杏ちゃん

各種
キャンペーン
実施中!

もしもの時は、お近くの支所へご相談ください。

一の宮中央支所
TEL.0967-22-1321



阿蘇町中央支所
TEL.0967-32-4411



小国郷中央支所
TEL.0967-46-3211



阿蘇南中央支所
TEL.0967-62-9131



高森支所
TEL.0967-62-0521



西原支所
TEL.096-279-3222



安心サポーター



家族
みんな安心
JA共済



もしも
自動車
事故が
起きたら...



1 ケガ人を救護

事故によっておケガをされた方の救護が何より優先です。ケガの状況によっては救急車を手配しましょう。

2 事故車を安全な場所へ

そのままでは交通渋滞や後続からの追突の原因となります。

3 警察へ連絡

どんな小さな事故でも必ず警察に届けましょう。共済金の請求には「交通事故証明書」が必要です。

4 相手方等の確認

相手方(氏名・住所・連絡先・登録番号等)、事故状況、目撃者の有無を確認しましょう。

5 JAへ事故報告を!

具体的な賠償にかかる交渉については、JAにご相談ください。

夜間・休日の自動車事故の際はJA共済事故受付センター 24時間・365日受付

フリーダイヤル (携帯電話・PHS通話可) **0120-258-931**

レッカー・ロードサービス(お車のけん引・応急対応)

JA共済サポートセンター 24時間・365日受付

フリーダイヤル (携帯電話・PHS通話可)

0120-063-931



JA SS 熊本県下JA-SS

大感謝

プレゼントキャンペーン



もれなく
プレゼント!!
※なくなり次第終了となります。



2024年
11/1(金) ▶ 11/2(土)
応募締切 2024年 11月30日(土)

キャンペーン期間

期間中 3,000円(税込)以上のご利用で
BOXティッシュ(3箱)
+ ジューシープレゼント!!
景品は十分に用意していますが、なくなり次第終了となります。

さらに抽選で590名様に当たる!!

A賞 Nintendo Switch
(有機ELモデル) ネオンブルー・ネオンレッド



20
名様

Nintendo Switchのロゴ・Nintendo Switchは任天堂の商標です。

B賞 熊本県下JA特産品
賞品の指定はお受けできません ※画像はイメージです



70
名様

C賞 冷凍米飯セット 1ケース (10袋入り)



500
名様

期間中、県内JA-SSで3,000円(税込)以上お買い上げのお客様で、専用応募用紙のアンケートにお答えいただいた方が対象です。

- 応募先: 給油したJA-SSで応募用紙をスタッフにお渡しく下さい。
- 当選発表: キャンペーン終了後、厳正な抽選の上、2025年1月上旬より順次賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。

※抽選に関するお問い合わせは、最寄りのSSスタッフにおたずねください。 ※一部実施していないJA-SSがありますので、事前にスタッフまでおたずねください。
※掲載の賞品写真は実際とは異なる場合がございます。 ※当キャンペーンは景品表示法に基づいて実施しております。

【個人情報の利用目的と保護】 熊本県経済農業協同組合連合会(JA-SS)は皆様から応募いただいた個人情報および、アンケートについては、適切な方法で管理し、不正利用及び漏洩などの危険が生じないように、個人情報の適切な管理および保護・処理に努めます。お客様の個人情報は当選者への賞品発送とマーケティングに利用いたします。